

宇佐山郷金石文年表

大 限 米 陽

番号	西 曆	天 皇	年 号	種 別	所 在	銘	文	摘 要
1	一二五九	龜 山	正元元	五輪塔	安心院町下市 常副	正元々年己未□五月二日		丈約三尺
2	一二八六	後宇多	弘安九	樟札	院內村大門 龍岩寺	弘安九年丙戌年二月二十二日再建		
3	一三二一	後醍醐	元享元	角塔	津房村千福	元享元年辛酉九月五日		塔身以下ハ宝塔 丈六尺五寸
4	一三二七		嘉暦二	板碑	安心院町庄 藏院	嘉暦二年丁卯八月八日四十八日奉入道願主各 敬白		丈四尺
5	一三三二		正慶元	ク	佐田村 佐田神社	正慶元年壬申八月十八日有志趣者天長地久御代円満也四 十八日時衆八十八人各敬白願主示阿(梵字キリク)		高さ二尺三寸 頭部欠
6			元弘二	五輪塔	南院内利大字土岩 屋緒	元弘二壬申七月廿三比丘尼妙丹		
7	一三三三		元弘三	板碑	佐田神社境内	キリク、サ、サク、アン、マン、カンマイン、ベイ、ウ ン、ア 元弘三年癸酉八月二十三日願主示阿導師源秀、秦太子 曆元元年八月十六日、眞照院殿小田舎奉行德運		五尺八寸 大分果指定
8	一三三八		曆元	墓石	深見村水車	深見大神直照大居士		
9	一三三九		クニ	板碑	佐田村且尾 菩提寺趾	觀一切法、皆無所有、無有堅固、猶如虛空、有志趣者、爲 和□一結之、曆元二天重源 敬白		丈五尺
10			クニ	石灯籠	佐田村房畑 三島神社内	曆元二己卯奉寄進惣氏子中十一月十五日		丈六尺 丈六尺
11	一三四一		クニ	板碑	佐田村 山藏神社境内	曆元四辛巳三四		丈四尺三寸
12	一三四六	後村上	貞和二	自然石碑	佐田村佐田 佐田氏墓地	貞和二丙辰天二月朔日道曉院殿著意歸山大居士		
13	一三七四	長 慶	應安七	卯塔	佐田村中村 重伝寺趾	應安第七甲寅年三月七日別時講各 敬白		
14	一四一〇	後小松	應永十七	鰐口	南端村小田 三浦氏方	奉施入佐田庄利国名地藏堂鰐口 應永十七庚寅年六月日大願主 敬白		

15	一四八二	後土御門	文明十四	銅羅	院內村大内	龍岩寺	文明十七年七月十一日豊前國下毛郡山田庄八屋村某	
16	一五〇一	後柏原	文龜元	蕨塔	佐田村且尾	菩提寺趾	奉造立□尊菩薩右志趣者為妙金禪尼逆修善根功德也文龜元稔辛酉六月廿日施主 敬白	
17	一五〇二	ノ	ノ	ノ	西馬城村熊字経石	文龜二年七月一日道泉禪門追福		丈六尺二寸
18	一五〇八	ノ	永正五	地藏塔	南院內村滝貞	時永正五戊辰年十月吉日 敬白	本願久次	六尺
19	一五一一	ノ	ノ	九輪塔	南院內村大字余	千時永正第九壬申浩洗六月先考玉翁金禪定門		
20	一五二二	ノ	大永二	地藏塔	東院內村下副	念仏講人類次第興禪寺中興永庵嗣順副大和守松月盛貞		丈約六尺
21	一五二五	ノ	ノ	ノ	常正寺掛所	大永二年壬午九月吉日 敬白		丈六尺
22	一五二七	ノ	ノ	七卵塔	深見村墨石堂元	妙花善女壽位、婦孺等、禪門、道珍禪門、各々靈位大永五年乙酉四月念四日		
23	一五二九	ノ	ノ	九卵塔	津房村千福	逆修指掌房公知高禪門 千時大永七		
24	一五四九	後奈良	天文一八	自然石碑	佐田村中村	乃至三境界等利益、還本芳花妙慶童女		三尺許り
25	一五五〇	ノ	ノ	ノ	南院內村余	大永九年五月十一日施主 敬白		丈三尺
26	一五五六	正親町	弘治二	宝塔	東院內村上副	空中一片石、爲□外道起禪定門		
27	一五七〇	ノ	ノ	ノ	江藤氏墓地	奉饗大衆妙典一千部 當座開山		
28	一五七二	ノ	元龜三	角塔	西馬城村熊	普公庵元天文十九年庚戌十一月八日		
29	一五七三	ノ	天正元	輪塔	深見村上内川野深	前但州大寺聖心□公禪定門皆弘治二季八月 日		二尺五寸許り
30	一五七八	ノ	ノ	六板碑	安心院町大佛	元龜二年		
31	一五七九	ノ	ノ	七自然石碑	安心院町飯田	□虎岩		丈約六尺
32	一五八〇	ノ	ノ	八卵塔	佐田村中村	天正元年二月十六日川田稔公		二尺四寸

33	一五八一	ノ	ノ	九	宝塔	東院内村上副	爲本源宗澄居士也孝武敬白
34	一五八九	後陽成	ノ	一七	自然石碑	佐田村佐田氏墓地	千岩天正九年辛巳五月十六日
35	一五九一	ノ	ノ	一九	角碑	兩川村櫛野	天正十七年己午四月廿日
36	一五九六	ノ	慶長元	卵塔	安心院町新原広長寺	慶長元年四月十九日道俗名新開彌三郎	久岩宗英大居士
37	一六〇七	ノ	ク一二	自然石碑	安心院町龍王妙庵寺	眞慈院殿一瀝妙庵大居士神儀	天正一九(櫛野伊勢守の墓)
38	一六一一	後水尾	ク一六	地藏碑	佐田村字仲間	慶長十二年丁未十一月初五日施主	敬白
39	一六二八	ノ	寛永五	石灯籠	佐田村佐田神社	寛永五年戊子曆九月吉祥日奉寄進石燈籠	敬白
40	一六三〇	ノ	ク七	卵塔	深見村壘石	佐田村住人小野助兵衛森重	約丈四尺
41	一六五〇	ノ	ク一七	板碑	安心院町新原広長寺	一六〇〇年利安養國、歸空隨花慶願、元來是我法王家、乃至	
42	一六四四	後光明	ク二一	石灯籠	安心院町妻垣神社	寛永十一年十月二十七日逝俗名新開玄蔭允統廣七十八才	
43	一六四九	ノ	慶安二	鳥居銘	佐田村山藏大年神社	奉寄進石燈籠者所生幡州當村下村	
44	一六五〇	ノ	ク三	ノ	安心院町妻垣神社	大神朝臣賀來六大夫惟繁	
45	ノ	ノ	板碑	安心院町妻垣	千時慶安三年十二月十七日	空風火水地清岩………神儀右當社祝………之大夫俗名	

以上は編者の実地踏査を経たるものである。銘文は手拓により誤りなきを期した。
 荷津房村檜本字岡の磨崖仏墨書銘に「応永三十五年戊申二月日」とあり。
 安心院町上市所在の安心院千代松丸の碑は「安心院殿、前傑山良英大居士神儀、天正十二甲申年十月十二日」と記さるれども、これは後寛文年間の建立のよし同碑に刻しあれば本表より省いた。

昭和廿九年七月調 (宇佐郡佐田村郷土史研究家)